

貝塚市議会

新政クラブニュース

第6号

2017年2月発行

貝塚市議会新政クラブは、真利一朗・阪口芳弘・松波謙太・南野敬介四名の会派です。昨年（二〇一六年）一年間の議会での取り組みを報告いたします。

この新聞は政務活動費で作成しています。
40,000部 作成
1枚単価 2.97円
1枚総単価 7.47円
(発送手数料含む)



松波 謙太 (まつなみ けんた)

《平成28年第2回定例会》

六月九日第二回定例会で

- 災害時の業務継続計画（BCP）について
- 学校の避難所機能整備状況について
- 災害時の寺社との災害協定・協力関係について
- 消火設備へのLED点滅灯設置について
- 自治体の孫育て手引書発行について

その中の災害発生時の寺社との災害協定・協力関係については、

◎松波謙太議員

東日本大震災で既存の避難所が不足し、多くの被災者が自宅近くの寺社で避難生活を送ったことから、神社や寺などと災害協定を結ぶ自治体が増えてきている。

大阪大学の稲場圭信准教授が実施したアンケートによると、昭和四十年頃から平成二六年までに



南野 敬介 (なんの けいすけ)

《平成28年第2回定例会》

六月九日第二回定例会で、

- 人権行政の推進について
- ①「部落地名総鑑」事件について
- ②ヘイトスピーチ解消法成立に伴う本市の取組みについて

《平成28年第3回定例会》

九月二日第三回定例会が開催され、

- せんごくの杜利活用の進捗状況について
- 空き家・空き地対策について

その中の「せんごくの杜利活用の進捗状況」については、

◎南野敬介議員

せんごくの杜ピクニックセンター跡地の現状は、

三都府県の九五自治体が寺社や教会と災害協定を結んでいる。締結先の宗教施設約三九九あるが増加傾向が明らかである。

これとは別に、正式文書は交わしていないものの、二〇八自治体、二〇〇二施設が協力関係にあると回答している。

宗教施設との災害協定、協力関係の主な内容として、災害時の避難所、帰宅困難者の滞在施設、飲料水の供給協力、ボランティア支援活動のための駐車場利用、ライフライン事業者の復旧対策活動拠点、一時安置所である。

広域災害時には公共の避難所数には限界があり、地域に根づいた寺社を活用するメリットは大きいと思われる。

東日本大震災には多くの施設が避難者の受け皿となっていたことから、いざというときに原則を気にせずスムーズに連携できる寺社との災害協定、協力関係を進めるべきと考えるが、本市としての意見はいろいろ。

◇都市政策部長

災害発生時の寺社との災害協定締結など協力関係の構築につきましては、とりわけ南海貝塚駅周辺の寺社については、帰宅困難者の一時滞在場所の確保などにも有効と考えられますが、そのような形での施設利用は可能か



今年度以降どう活用していくのか。

◇都市政策部参与兼政策推進課長

造成されたのり面の保護及び雨水排水路確保のため、九月末の竣工を目指して後工事を行っております。

今後は運動広場としての活用を図るため、民間活力の導入によるインシャルコスト、ランニングコストの縮減を目指し、公募による民間事業者誘致を行いたい。

◎南野敬介議員

何かめどがあるのか。

◎波多野真樹副市長

現在幾つかの企業とは非公式に折衝を重ね最終的に応募の意向があるところがあれば正式に公募の手続きを進めたいと考えています。

◎南野敬介議員

ゴールをいつ位に設定しているのか。

◎波多野真樹副市長

早ければ今年度中に公募の手続きに着手できるくらいに進められれば、これは相手のある話で、今プロモーションを積極的にかけています。

◎南野敬介議員

千石荘病院跡地エリアの進捗状況は、

どうかも含めまして、貝塚市仏教会や神社などに働きかけを行ってまいりたいと考えております。と答弁をいただきました。

《平成28年 決算特別委員会》

九月十三日から十五日に開催されました決算特別委員会で質問を行いました。その主な内容は、

- ◎市民文化会館整備事業について
- ◎交通安全対策について
- ◎環境公害対策について
- ◎LINC2収納推進事業について
- ◎一般選挙事業について
- ◎中小企業制度融資事業について
- ◎商店街地域活性化事業について
- ◎住居表示整備事業について
- ◎消防共同運営事業について
- ◎自主防災組織育成事業について
- ◎自主防災結成について
- ◎中学校給食運営事業について

の質問を行いました。

◇都市政策部参与兼政策推進課長

現在境界確定及び測量業務を行っており、本年度末に完了予定です。このエリアでは、公募による民間事業者誘致を考えています。

◎南野敬介議員

5CVS5をめどう考えているのか。

◎波多野真樹副市長

現在藤原市長を初め、金融機関等へのトップセールスをかけ幾つか興味を示している企業が出てきました。幾つか折衝できる段階になってきました。

◎藤原龍男市長

幾つか当たりはあることはあるのですが、この十月中旬に内覧会を行い、興味を示す企業を中心にこれも公募をかけたいと考えています。

せんごくの杜は本市の将来のまちづくりの大きな起爆剤になるという確信のもとに進めており、病院跡地の九ヘクタールには雇用の場の確保なり税の確保という点で、引き続き総力を挙げて取り組んでいきたいと思っています。と答弁をいただきました。

議会での役職
厚生文教常任委員会 委員長
防災・環境問題対策特別委員会 委員
貝塚市都市計画審議会 委員